

大学公開講座「さっぽろ学」の開講について

札幌市東京事務所の開設 50 周年記念事業として、首都圏にお住まいの方々を対象に、札幌の魅力をより深く知ってもらおうと、11 月 5 日から 26 日までの毎週土曜日に大学公開講座「さっぽろ学」を開講します。

昨年、首都圏で実施した札幌観光の意識調査では、ほとんどの方が札幌に好印象を持っている一方で、「札幌は観光するところではない」と認識される方も多く、また、札幌から連想するものとしては「雪まつり、時計台、ラーメン」に集中するなど、札幌に対するイメージは、ここ何十年も固定されてしまっている感があります。

そこで、このたび実施する公開講座では、「食」や「アート」など、札幌の新しい魅力について発信するとともに、「雪まつり」などの従来型のイベントについてはその舞台裏を、「2007 年 F I S ノルディックスキー世界選手権札幌大会」についてはその見どころを、紹介することにより、新たな魅力づくりにつなげることを試みます。

東京事務所では、日ごろから首都圏でのシティ P R や札幌への集客プロモーションを幅広く展開しており、今回の講座が首都圏に札幌ファンの輪を広げる絶好の機会になると考えています。

1 開催日時

11 月の毎週土曜日（全 4 回：11 月 5 日、12 日、19 日、26 日）
午後 2 時～午後 3 時 30 分

2 会場

中央大学駿河台記念館「280 号室」（東京都千代田区駿河台 3 - 11 - 5）
JR お茶の水駅から徒歩 5 分

3 募集人数

100 人（首都圏にお住まいの一般の方）、先着順。（10 月 25 日現在で、89 人申込済）

4 受講料

無料

5 テーマ・講師

【11 月 5 日】

テーマ：「さっぽろ食の魅力再発見」

講師：三國 清三（みくに・きよみ）氏（HOTEL DE MIKUNI 代表）

齋藤 壽（さいとう・ひさし）氏（ザ・ウインザーホテル洞爺顧問）

概要： フレンチシェフで「北海道食の大使」である三國氏と齋藤氏に「食」を通じた札幌の魅力を語っていただきます。

【11 月 12 日】

テーマ：「さっぽろの夏」

講師：長谷川 岳（はせがわ・がく）氏（YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会専務理事）

霜田 忠興（しもだ・ただおき）氏（サッポロビール博物館館長）

概要： 夏の風物詩である「YOSAKOI ソーラン祭り」、「ビール」について、それぞれその歴史や舞台裏について語っていただきます（2 講座）

【11月19日】

テーマ：「さっぽろのアート」

講師：川村 純一（かわむら・じゅんいち）氏（アーキテクトファイブ代表）
国松 明日香（くにまつ・あすか）氏（札幌市立高等専門学校教授）

概要： 故イサム・ノグチと交友が深く、モエレ沼公園の設計監修をされた川村氏、石山緑地の造成に携わった国松氏に、それぞれの施設の魅力を中心に札幌の「アート」を語っていただきます（2講座）。

【11月26日】

テーマ：「さっぽろの冬」

講師：渡辺 信（わたなべ・しん）氏（北海道芸術デザイン専門学校講師）
八木 弘和（やぎ・ひろかず）氏（第13回（1980年）レークプラシッド冬季五輪大会スキー競技ジャンプ70メートル級銀メダリスト）

概要： 第4回から雪像の制作指導に携わり「雪まつりの陰の功労者」といわれる渡辺氏に雪まつりの魅力について、また、2007年に札幌で開催されるノルディック世界選手権大会を記念して、冬季五輪メダリストの八木氏にノルディックおよび札幌のウィンタースポーツの魅力について、語っていただきます（2講座）。

「（2講座）」と標記がある講座は、前・後半（各45分）で実施。

問い合わせ先

（講座受講に関すること）

中央大学クレセント・アカデミー事務室

電話：0426-74-2266

（事業全般に関すること）

総務局東京事務所 担当 斎藤

電話：03-3216-5090